

リニモ沿線地域づくり 重点プラン 2021-2025（仮称） 案について

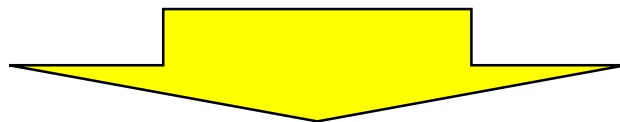
2020年12月11日
リニモ沿線地域づくり会議

重点プラン案 -第1章 策定の趣旨-

○ 策定の背景・目的

【背景】

- 2009年3月に県及び沿線4市（瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市）が「リニモ沿線地域づくり構想」を策定。
- 2016年3月に次の5年間の指針として「リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020」を策定し、リニモ沿線地域づくりを着実に推進。
- 本年度で「リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020」が目標年次に到達。
- 2022年のジブリパーク開業、SDGsの理念の浸透など、地域をとりまく環境や社会情勢が大きく変化。



【目的】

- これらの変化に対応するため、リニモ沿線の目指すべき新しい地域像を示すとともに、従来の施策体系を再構築し、沿線地域共通の指針として「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025」を策定。

重点プラン案 -第1章 策定の趣旨-

○ 取組年次

- 前プランの期間が終了する**2021(令和3)年度から**、地域づくり構想が将来像を描いた**2025(令和7)年度までの5年間**を取組年次とする。

○ 対象地域

- ジブリパーク開業に伴い、西のアクセス結節点となる藤が丘を含む沿線全体の活性化を図る必要。
- **リニモ全9駅概ね1km圏及び海上の森が対象地域。**

※ 藤が丘、はなみずき通、杵ヶ池公園の1km圏を新たに追加

※ 沿線地域を拠点とした広域観光の推進を図るため、広域的な取組も含める



重点プラン案 -第2章 地域づくりの現況と今後の方向性-

前プランにおける3つのキーワード

- 市街地整備の着実な推進等による「住みたくなる沿線」
- 観光やイベント等の交流の推進による「訪れたくなる沿線」
- 「それらを支える交通基盤」

沿線の将来像

- 愛・地球博の成果を継承・発展させるまち
- 次世代産業の育成をリードする産学行政の研究開発エリア
- リコモでつながるコンパクトなまち

沿線地域をとりまく状況

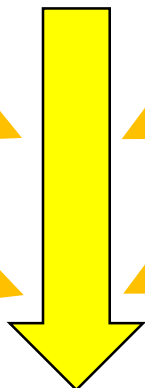
SDGs、新モビリティサービス、ICT、ジブリパーク、新型コロナウイルス 等

沿線地域の特性

交通条件、自然環境、学術研究機能、愛・地球博開催地、居住環境の優位性

これまでの取組

計画的な市街地整備、沿線施設の整備、にぎわい創出・魅力発信による地域活性化 等



本プランにおける3つのキーワード

ジブリパークを核とした地域の魅力向上による

「何度も訪れたくなる沿線」

充実した都市機能と自然環境が調和した

「住み続けたくなる沿線」

効率的で快適な移動を可能にする

「誰もが使いやすい交通の実現」

重点プラン案 -第3章 重点戦略と主要施策(一覧)-

重点プランの施策体系

キーワード	重点戦略	主要施策
何度も訪れたくなる沿線	〈重点戦略1〉 魅力向上によるにぎわいの創出、交流の促進	①ジブリパークの整備とパークを核としたにぎわいの創出 ②ホスピタリティに溢れたおもてなし体制の整備 ③地域資源の活用による魅力向上 ④広域連携による観光の推進
	〈重点戦略2〉 イノベーションの促進、次世代産業の育成	⑤次世代産業のさらなる振興に向けた人材育成、企業育成 ⑥先端研究開発や実証研究の推進
住み続けたくなる沿線	〈重点戦略3〉 持続可能な集約型まちづくりと自然環境との共生	⑦駅を中心とした概ね1km圏内の計画的な市街地整備の推進 ⑧藤が丘駅をはじめとした駅周辺の都市機能充実 ⑨ICT等を活用したスマートシティの実現 ⑩自然環境の適切な維持管理と農あるくらしの推進 ⑪豊かな自然を活かした地域づくりと脱炭素・循環型社会に向けた取組
	〈重点戦略4〉 地域づくり活動の活性化	⑫沿線住民や沿線大学・学生と協働した地域づくり ⑬市民活動の活性化
誰もが使いやすい交通の実現	〈重点戦略5〉 効率的で利便性の高い交通体系の構築	⑭公共交通の充実・利用促進 ⑮道路交通網の形成及び愛・地球博記念公園周辺道路の渋滞対策 ⑯新たなモビリティサービスの実現による移動の円滑化

重点プラン案 -第3章 重点戦略と主要施策(要点)-

1 ジブリパーク開業効果の沿線全域への波及

(1) リニモ沿線や周辺地域への周遊観光の促進 ⇒施策 1, 2, 3, 4

- ジブリパークの観光客を沿線地域に取り込むため、沿線の地域資源の磨き上げや沿線観光情報の発信を行うとともに、多言語・ユニバーサルデザイン化やガイドボランティアの育成など、おもてなし体制の整備を図る。
- 沿線周遊企画チケットやモデルルートの造成、ナイト観光の充実、テーマ別観光、沿線地域を拠点とした広域観光の推進など、多様な周遊促進策を実施する。
- 名産品・特産品をPR・開発するとともに、愛・地球博記念公園内に設置するサテライトショップにおいて販売し、地域の魅力を発信する。

(2) 交通結節点となる藤が丘、八草のまちづくり ⇒施策 8, 12, 14

- 「藤が丘まちづくり協議会」や「八草まちづくり推進委員会」を中心に、観光客向けの地域情報発信や歓迎装飾による雰囲気づくり等、リニモ沿線地域の玄関口としてふさわしいまちを目指した取組を促進する。
- 「藤が丘まちづくり協議会」において、ジブリパーク開業をきっかけとした地域活性化や老朽化した集合住宅の建替え等を見据えた魅力的なまちづくりの検討が行われる予定であり、協議会が進める「まちづくり基本構想」の策定等に協力する。
- 地下鉄藤が丘駅のトイレの改修、リニモス広場の活用の検討、藤が丘駅及び八草駅におけるわかりやすい乗り換え案内など、交通利便性の向上を図る。

2 新たなモビリティサービスの実現 ⇒ 施策 6, 9, 16

(1) **MaaS導入**に向けた取組

- リニモ沿線を含む東部丘陵地域を先導的に導入する地域として、新たな生活様式に対応した移動の実現に必要なサービスや、将来的な民間事業者による自立的な運営を可能とするためのビジネスモデルの構築に向けた検討など、MaaS導入に向けた取組を推進する。
- 日進市及び長久手市を中心とした尾三地区において、鉄道、路線バス、コミュニティバスを対象とした地域版MaaSの導入について検討を行う。

(2) **自動運転**の社会実装に向けた実証実験

- 愛・地球博記念公園において自動運転の実証実験を実施し、県内での将来的な自動運転の社会実装を目指す。
- 日進市、長久手市、関連企業及び大学が連携し、将来的な観光路線としての社会実装を目標に自動運転走行バスの実証実験を実施する。